

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策	法人全体で連携を図り、災害時に迅速に対応できる様体制を整える。	年2回日中想定、夜間想定避難誘導訓練の実施。日中想定避難誘導訓練においては、法人全体で避難誘導訓練を実施する。実践してみたい課題点を話し合い、課題解決に向け取り組み、災害時に迅速に対応できる体制をつくる。	6ヶ月
2	37	利用者の希望の表出や自己決定の支援	入居者様の意思を尊重し、個々のペースに合わせて支援する。	職員側の業務や都合を優先せず、日々の生活の中で入居者様が何を思い、希望しているのか入居者様目線に立ち、理解を深め支援していく。	6ヶ月
3	3	事業所の力を活かした地域貢献	地域の方々に認知症の理解を深めて頂き、より一層地域との関係を深める。	年に1回地域向けの認知症に関する勉強会の開催、年3回の当事業所お祭りへの参加等を通し、当事業所を知って頂き、地域の方々との関係を深めていく。	6ヶ月
4	34	急変や事故発生時の備えを行う	職員個々のケア技術、知識のスキルアップ、定期的な緊急時、事故発生時の対応の再確認の実施。	外部研修への参加、事業所内での勉強会の実施、自己学習にて個々のスキルアップを図る。またチームミーティングにて緊急時の対応のロールプレを定期的に行い、緊急時に迅速に対応できるようにする。	6ヶ月
5	44	便秘の予防と対応	入居者様の排便を日ごとに記録し、申し送りで職員間確認し、個人毎に対応する。	定期的に排便が無い時は排便を促すべく、牛乳、野菜(食物繊維)、果物等を取り入れた食事を提供し、日々の体操、買い物等で体を動かす機会を多くもち便秘予防を行っていく。また場合によっては看護師、医師と相談して対応していく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。